

議案第93号
令和元年度宝塚市下水道事業会計決算認定について

資料3 重要な汚水管路、汚水管路の耐震化率及び雨水施設整備延長比率

項目／年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
重要な汚水管路の耐震化(%) ※1	24.6	29.3	30.6	30.6	33.8
雨水施設整備延長比率(%) ※2	79.2	79.3	79.6	81.4	81.5
汚水管路の耐震化率(%) ※3	19.1	19.3	19.8	20.1	20.3

※1 重要な汚水管路の耐震化率：

下水道（污水）が破損した場合、使用者への影響が大きい汚水管路や社会的影響が大きい緊急輸送路、軌道の下などに埋設された汚水管路の耐震化率の割合。

$$\text{重要な管路の耐震化率(％)} = \text{耐震化管路(m)} / \text{管路の総延長(m)} \times 100$$

$$(\text{令和元年度 } 33.8 = 2,334 / 6,900 \times 100)$$

※2 雨水施設整備延長比率：

雨水管渠の計画延長に対する実際の整備延長比率の割合。

$$\text{雨水施設整備延長比率(％)} = \text{雨水整備済延長(m)} / \text{全体計画雨水管延長(m)} \times 100$$

$$(\text{令和元年度 } 81.5 = 160,264 / 196,668 \times 100)$$

※3 汚水管路の耐震化率：

整備済の汚水管路の延長に対する耐震化率の割合。

$$\text{汚水管路の耐震化率(％)} = \text{耐震化汚水管路(m)} / \text{整備済の汚水管延長(m)} \times 100$$

$$(\text{令和元年度 } 20.3 = 105,196 / 518,707 \times 100)$$